

進路学習だより

# Break-through

打破！

ブレイクスルー

第8号

令和3年1月15日(金)

小笠原中学校

進路学習部

## ◆まとめと準備の3学期

今年度の年末年始は、新型コロナウイルスの影響で、いつもと違う過ごし方をした人も多かったかもしれませんが、小笠原でも、例年行われているイベントは行われませんでした。年が変わる瞬間には美しい花火が打ち上がりました。早くいつもの落ち着いた生活に戻りたいと願った人もいたのではないかと思います。

例年との違いで一番大きなものは、今年は「おうち時間」が増えたということではないでしょうか。現在は緊急事態宣言が発出されており、特に「おうち時間」が増えているという状況下にあります。この「おうち時間」をどのように使っていくかということが大切なのではないかと感じます。外にも行けないし、やることもないからといって、家の中でダラダラと過ごしてしまうのでは、あまりにももったいなさすぎます。人に与えられた時間は平等であり、その平等に与えられた時間をどのように使うのかということが、人によって違いが出る所になります。この「おうち時間」こそ、1年間の振り返りや、新しい学年の準備をすることに使うことで、有効な時間とすることができるのではないのでしょうか。しかし、家族しかいない家の中だからこそ、自分に甘えが出てしまうこともあるかと思えます。「見られていないから」「決められていないから」といって、自分を甘やかすのではなく、自分で決めて行動していく強さをもち、自らを律して行ってほしいと思います。

校長先生から「3学期を制する者は、来年度を制す」というお話がありました。3学期は「新学期の0(ゼロ)学期である」とよく言われます。3学期はまとめと準備の学期です。この1年間のまとめをするとともに、進学・進級に向けての準備を進める学期が3学期です。学校で学習している内容を定着させる点でも、この「まとめと準備の3学期」はとても大切にしてもらいたい時期であると考えています。

「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」というように、3学期の3か月は特に短く感じるといわれます。実際に、3学期の6分の1はすでに終わったのであり、今年度の登校日数は3年生で残すところあと43日、1、2年生でも47日しかありません。「結局何もできなかった。」とならないよう、新年に立てた目標をしっかりと意識し、今年1年をしっかりとまとめ、4月からの新しい学年、新しい学校での生活に向けての準備を進めていきましょう。

## ◆進路選択

3学期は、3つの学年それぞれが進路について具体的なことを考える時です。1年生は「働く人の話を聞く会」などを通して、働くことや生き方について学んできました。2年生は職場体験を通して、実際に働くことを経験しました。そして3年生はいよいよ自身の希望進路に向けて入学試験等に赴きます。今学期はどの学年も自分の進路について考える機会が多くなります。将来どんな生き方をしていくか、進級・進学前にじっくり考えてみましょう。

あなたがこれから生きていく中で出会う選択の場面で、進む方向を決定するひとつの基準は、あなたの「価値観」です。その価値観を踏まえて、進路を決める時のチェックポイントを紹介します。具体的な進路選択に向けて、自分の理解を深め、希望する進路について納得した選択ができるようにしましょう。

### 【進路を決める時のチェックポイント】

- ① 興味関心…趣味や特技、部活動。校外における様々な活動。職業に対する興味関心など。
- ② 学習…通知表やテストの記録など。得意な教科、不得意な教科など。
- ③ 性格・行動…自分から見た自分。家族や友達から見た自分。通知表の所見欄など。
- ④ 特技・特性…人には負けないと思える分野。これまで続けてきたこと。
- ⑤ これまでの学校生活…学級の中の活動。生徒会や委員会、学校行事の活動。
- ⑥ 将来の夢…進路の希望。進路相談の内容。家族との話し合いなど。